

第11期

運用報告書(全体版)

ニッポン成長株オープン (愛称 一等星)

【2020年8月5日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」は、2020年8月5日に第11期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2015年2月6日から2025年2月5日までです。
運用方針	日本の成長が期待される企業の株式へ投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
主要投資対象	日本の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年2月5日および8月5日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		東証株価指数 (TOPIX) (参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
		税分配金	期中騰落率	騰落率	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
7期(2018年8月6日)	11,212	500	△ 8.7	1,732.90	△ 5.0	94.6	—	7,377
8期(2019年2月5日)	9,663	0	△13.8	1,582.88	△ 8.7	95.8	△18.5	4,821
9期(2019年8月5日)	9,655	0	△ 0.1	1,505.88	△ 4.9	94.0	△11.8	3,798
10期(2020年2月5日)	10,437	100	9.1	1,701.83	13.0	93.2	△ 8.5	2,748
11期(2020年8月5日)	9,729	0	△ 6.8	1,554.71	△ 8.6	96.5	△ 2.1	2,200

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 東証株価指数（TOPIX）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

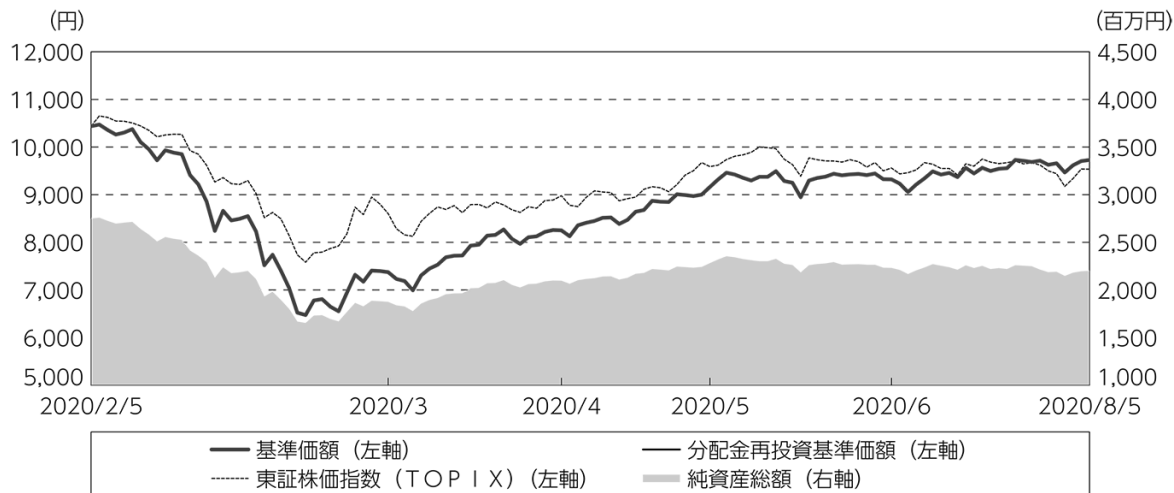
年月日	基準価額	標準価額		東証株価指数 (TOPIX) (参考指数)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2020年2月5日	円 10,437	% —	ポイント 1,701.83	% —	% 93.2	% △8.5	
2月末	8,240	△21.1	1,510.87	△11.2	92.1	—	
3月末	7,374	△29.3	1,403.04	△17.6	91.5	—	
4月末	8,251	△20.9	1,464.03	△14.0	94.4	—	
5月末	9,163	△12.2	1,563.67	△ 8.1	95.9	—	
6月末	9,321	△10.7	1,558.77	△ 8.4	96.7	△2.1	
7月末	9,466	△ 9.3	1,496.06	△12.1	96.4	△2.1	
(期末) 2020年8月5日	9,729	△ 6.8	1,554.71	△ 8.6	96.5	△2.1	

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2020年2月6日～2020年8月5日）



期首：10,437円

期末：9,729円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：△ 6.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、東証株価指数（TOPIX）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2020年2月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・業種配分では、情報・通信業、電気機器、化学などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、メディアドゥ、マクアケ、アセンテックなどが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種配分では、サービス業、不動産業、小売業などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、ギグワークス、ティーケーピー、セレスなどが基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

(2020年2月6日～2020年8月5日)

国内株式市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて株価が大きく動く展開となりました。2020年2月下旬から世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場は急落しました。各国政府や中央銀行の強力な政策対応により3月下旬にマーケットは下げ止まり、日本政府の緊急事態宣言発令や外出の自粛効果で、新規感染者数が減少傾向に転じたことで、経済活動再開への期待から、6月上旬にかけて株式市場は戻りを試す展開となりました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大第2波への警戒感などから、上値の重い展開が続きました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年2月6日～2020年8月5日)

当ファンドの運用につきましては、通常ファンダメンタルズ調査に基づく銘柄選別に加え、マクロ環境やマーケット動向の変化に応じて、大幅な銘柄の入れ替えを行いました。

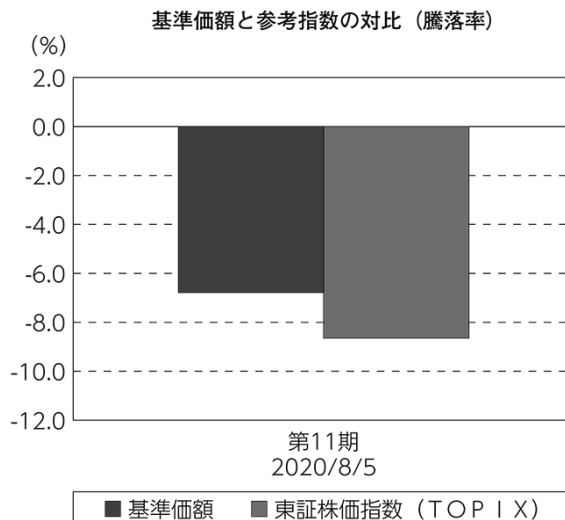
2020年3月下旬までの株価下落局面では、株式市場全体の売り圧力が強まる中、需給悪化が懸念される小型株や新興市場株を削減し、中型株に一部シフトすることで、ポートフォリオの流動性リスク軽減を図りました。同時に、稼ぐ力や財務健全性を意識した組入銘柄の入れ替えや、外出制限により成長性が高まると判断した情報通信関連株などの新規組み入れを行いました。

相場回復局面では、短期間で株価が大きく上昇した情報通信株の利益確定や、業績見通しが低下していると判断した銘柄を売却した一方で、中長期的な成長が期待できると判断した電子材料株や電子部品株などを新規に組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年2月6日～2020年8月5日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、基準価額の騰落率は、参考指数としている東証株価指数（TOPIX）の騰落率を1.8%上回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、東証株価指数（TOPIX）です。

分配金

（2020年2月6日～2020年8月5日）

毎年2月5日および8月5日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益とします。分配金額は、分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第11期
	2020年2月6日～ 2020年8月5日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,292

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

国内株式市場は、緩やかな景気回復ペースの中、新型コロナウイルスの感染拡大第2波への警戒感から、方向感の乏しい不安定な相場展開が想定されます。ワクチンの開発動向や2020年11月の米大統領選挙へ向けた動き次第では相場が上下に大きく変動する可能性が考えられます。相場の調整局面では日銀の上場投資信託（ETF）買入れや待機資金の買いが支えとなるものの、当面は様子見ムードが強いなか上値の重い展開を予想します。また、企業本来の競争力や経営の変化対応力の違いで企業ごとの業績やパフォーマンス格差がより鮮明化してくると思われれます。

当ファンドの運用につきましては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視し、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に注目して銘柄の選定を行います。

引き続き、高い競争優位性や構造的な成長要因を持つ、中長期で高い利益成長が見込まれる成長企業へ選別投資してまいります。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

○ 1万口当たりの費用明細

(2020年2月6日～2020年8月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(35)	(0.410)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(35)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	26	0.299	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(26)	(0.298)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.001)	
(c) そ の 他 費 用	0	0.006	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	99	1.147	
期中の平均基準価額は、8,635円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

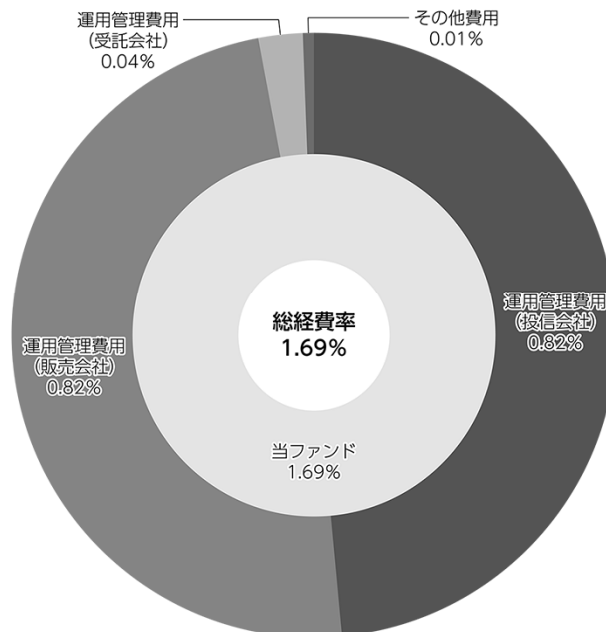
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年2月6日～2020年8月5日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	上場	千株	千円	千株	千円
内		856	1,957,447	1,746	2,199,300
		(65)	(-)		

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国	株式先物取引	百万円	百万円	百万円	百万円
内		-	-	46	232

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2020年2月6日～2020年8月5日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,156,748千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,011,542千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.06

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年2月6日～2020年8月5日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
株式	百万円 1,957	百万円 647	33.1	百万円 2,199	百万円 718	32.7

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	6,371千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2,254千円
(B) / (A)	35.4%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2020年8月5日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
建設業 (1.8%)			
コムシスホールディングス	—	12	37,980
フィル・カンパニー	9.5	—	—
食料品 (2.3%)			
アリアケジャパン	—	7	47,810
北の達人コーポレーション	53.3	—	—
化学 (8.2%)			
田岡化学工業	—	0.8	10,312
アイカ工業	—	9.8	34,790
扶桑化学工業	—	12.3	48,769
トリケミカル研究所	2	2.7	28,080
ファンケル	—	18	52,650
医薬品 (8.5%)			
日本新薬	—	6.5	54,665
JCRファーマ	—	5.2	55,952
ベプチドリーム	15.9	15.3	69,691
ステムリム	16.6	—	—
ゴム製品 (1.8%)			
TOYO TIRE	—	25	38,025
ガラス・土石製品 (1.7%)			
MARUWA	4.2	3.8	35,644
金属製品 (2.3%)			
シンボ	9.1	—	—
リンナイ	—	5.6	49,336
機械 (5.4%)			
自律制御システム研究所	3.7	—	—
技研製作所	5.5	—	—
ローツェ	—	8.5	45,730
トーヨーカネツ	—	14	28,112
栗田工業	—	14	41,328
電気機器 (13.9%)			
HP Cシステムズ	—	12.8	34,393
ヤーマン	—	11.2	11,771
E I Z O	—	8.2	32,103
エレコム	—	4.3	22,489
アンリツ	—	33	82,995
TDK	—	5.2	61,152
横河電機	—	29	50,170
精密機器 (5.3%)			
ナカニシ	—	21.5	35,883

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
インターアクション	—	22	37,422
マニー	—	13.4	38,149
その他製品 (—%)			
ブシロード	11.4	—	—
電気・ガス業 (—%)			
レノバ	43.9	—	—
情報・通信業 (22.3%)			
NEC ネットエスアイ	—	28.7	62,623
イーブックイニシアティブジャパン	7.6	—	—
エムアップホールディングス	19.5	—	—
デジタルハーツホールディングス	—	43.4	38,886
メディアドゥ	—	17.4	109,098
じげん	93.5	—	—
オプティム	19.8	4.1	14,350
セレス	51.4	—	—
アドバンスト・メディア	12.8	—	—
アバント	46.8	26.8	26,907
エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート	4.4	—	—
キャピタル・アセット・プランニング	11.6	—	—
ユーザベース	20.3	—	—
ユーザローカル	10	13.5	53,730
マネーフォワード	5.3	—	—
HEROZ	4.6	—	—
ラクスル	20.7	—	—
メルカリ	14.2	—	—
シノプス	5	—	—
ミンカブ・ジ・インフォノイド	36	14.1	28,242
トピラスシステムズ	22.3	—	—
Sansan	5.2	—	—
Chatwork	15	15	23,910
ギフティ	17.2	—	—
BASE	13.6	—	—
マクアケ	6.3	8	71,040
メドレー	17.1	—	—
JMDC	7	5.4	39,744
J TOWER	1.9	—	—
ロゴガイド	—	0.7	5,019
クレスコ	8.4	—	—
コナミホールディングス	6.4	—	—

ニッポン成長株オープン（愛称 一等星）

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
卸売業 (6.9%)			
マクニカ・富士エレホールディングス	23.3	19.3	32,095
ビューティガレージ	25.5	—	—
シップヘルスケアホールディングス	—	5	22,475
農業総合研究所	45.7	—	—
アセンテック	—	31	55,552
BuySell Technologies	6.6	—	—
トラスコ中山	6.3	14.7	36,852
小売業 (6.5%)			
セリア	—	18	78,750
ジーンズホールディングス	—	8	59,040
物語コーポレーション	6.3	—	—
シュッピン	60.3	—	—
ネクステージ	27.4	—	—
鳥貴族	13	—	—
BEENOS	10.4	—	—
トリドールホールディングス	7.5	—	—
TOKYO BASE	52.9	—	—
ブックオフグループホールディングス	14.2	—	—
証券、商品先物取引業 (1.5%)			
SBIホールディングス	—	14.3	32,704
その他金融業 (2.4%)			
全国保証	—	13	50,505
不動産業 (—%)			
SREホールディングス	7.7	—	—
日本管理センター	59.5	—	—
ティーケービー	22.7	—	—
GA technologies	10.8	—	—

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
青山財産ネットワークス	20.4	—	—	
サービス業 (9.2%)				
L I F U L L	79.4	—	—	
タケエイ	20	—	—	
リンクアンドモチベーション	59.2	—	—	
学情	13.2	—	—	
ギグワークス	37.8	—	—	
パリュエコマース	—	29	90,045	
ベクトル	42.2	—	—	
フリークアウト・ホールディングス	22.4	—	—	
L I T A L I C O	16.6	—	—	
ジャパンエレベーターサービスホールディングス	10.3	10.9	42,510	
global bridge HOLDINGS	9.1	—	—	
マネジメントソリューションズ	5.9	—	—	
ピアラ	6.2	—	—	
ポート	41.4	—	—	
ベルトラ	10.7	—	—	
識学	13.4	—	—	
コーユレンティア	0.9	—	—	
ジモティー	1.4	—	—	
リログループ	10.8	10.8	21,092	
東京都競馬	5.6	9.7	42,728	
計	株数・金額	1,506	681	2,123,305
	銘柄数<比率>	76	49	<96.5%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当 期	
			買 建 額	売 建 額
国内	株式先物取引	TOPIX	百万円 -	百万円 46

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年8月5日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,123,305	% 95.4
コール・ローン等、その他	102,858	4.6
投資信託財産総額	2,226,163	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年8月5日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	2,226,163,415	
コール・ローン等	90,390,798	
株式(評価額)	2,123,305,200	
未収入金	8,068,967	
未収配当金	2,553,450	
差入委託証拠金	1,845,000	
(B) 負債	25,283,404	
未払金	168,300	
未払解約金	6,712,774	
未払信託報酬	18,283,244	
未払利息	74	
その他未払費用	119,012	
(C) 純資産総額(A-B)	2,200,880,011	
元本	2,262,290,805	
次期繰越損益金	△ 61,410,794	
(D) 受益権総口数	2,262,290,805口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,729円	

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は61,410,794円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9729円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は2,633,680,807円、期中追加設定元本額は51,094,714円、期中一部解約元本額は422,484,716円です。

○損益の状況（2020年2月6日～2020年8月5日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	8,592,145	
受取配当金	8,578,704	
受取利息	439	
その他収益金	35,563	
支払利息	△ 22,561	
(B) 有価証券売買損益	△145,768,436	
売買益	592,630,920	
売買損	△738,399,356	
(C) 先物取引等取引損益	1,182,718	
取引益	1,399,147	
取引損	△ 216,429	
(D) 信託報酬等	△ 18,405,146	
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△154,398,719	
(F) 前期繰越損益金	8,398,465	
(G) 追加信託差損益金	84,589,460	
(配当等相当額)	(142,774,786)	
(売買損益相当額)	(△ 58,185,326)	
(H) 計(E+F+G)	△ 61,410,794	
(I) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(H+I)	△ 61,410,794	
追加信託差損益金	84,589,460	
(配当等相当額)	(142,774,786)	
(売買損益相当額)	(△ 58,185,326)	
分配準備積立金	375,805,498	
繰越損益金	△521,805,752	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第11期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	142,774,786円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	375,805,498円
分配対象収益(a+b+c+d)	518,580,284円
分配対象収益(1万口当たり)	2,292円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。